

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準をえながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成要する月
1	1	現時点で理念を共有し、実践につなげていくのは、いまだ中途過程だと思われる。全職員の意識統一を継続的に図る必要がある。	全職員が理念を共有し、継続的に実践につなげていくことで、事業所自体の活性化を促し、今以上に入居者の住みやすい環境を作る	定期的に職員会議を行い、その中で理念の共有を目指す	3ヶ
2	13	年2回の避難、消火訓練を行い、今年度スプリンクラーを設置し、火災への対応は万全にしたつもりであったが、このたびの東日本大震災により、地震、津波対策を今まで以上に、考えないといけないことがわかった。	地震、津波対策では、隣接している施設との連携が不可欠であり、情報の共有化を目指し、入居者の安全の確保を目指す。	地震、津波を想定した避難訓練を隣接施設と行い、スムーズに連携できるようにする。	3ヶ
3					ヶ
4					ヶ
5					ヶ

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。